

MetaTrader 5

カスタムインジケーター 設定手順書

配布された .ex5 ファイルを MT5 に配置し、チャートへ表示するまでを迷わず進めるためのガイドです。

所要時間 約 5 分 コンパイル不要 初期値で利用可

対象

MT5 用カスタムインジケーター

必要なもの

MT5、解凍済みの配布 ZIP

作業の流れ

コピー → DLL 許可 → 適用

最短手順 まず全体像を確認してから、以降の詳細手順に進んでください。

01 データフォルダを開く	02 .ex5 をすべてコピー	03 ナビゲーターを更新	04 DLL の使用を許可	05 チャートへ適用
-------------------------	---------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------

目次

目次	2
1. この手順書で行うこと	3
2. 配布フォルダの確認.....	4
3. MT5 ヘファイルを配置する	5
4. ナビゲーターを更新する.....	8
5. DLL の使用を許可する(認証がある場合)	10
6. チャートへ適用する.....	11
7. パラメータを変更する	12
8. 完了チェック	15
9. うまく表示されないとき.....	16
10. よくある質問	17
付録 A. 認証・口座変更について(ゴゴジャン案内).....	18
付録 B. MT5 が重いときの対策	19
付録 C. 同じ FX 会社で MT5 を複数入れる方法.....	20
付録 D. 音声ファイル(Sounds フォルダ)について.....	21

1. この手順書で行うこと

配布された .ex5 ファイルを MT5 の正しいフォルダへコピーし、DLL の使用を許可したうえで、チャートへ適用します。

最初に押さえるポイント

購入者へ配布されるのはコンパイル済みの .ex5 ファイルです。.mq5 や .mqh は不要で、MetaEditor でのビルド作業も不要です。

本商品には認証が付いているため、「DLL の使用を許可する」の設定が必要です(章 5)。

01	MetaTrader 5 が PC にインストールされている
02	配布 ZIP を解凍し、Indicators フォルダを開ける
03	Indicators フォルダ内に .ex5 ファイルがある
04	MT5 を起動できる

2. 配布フォルダの確認

まず、解凍した配布フォルダの中にある Indicators フォルダを確認します。

```
(配布フォルダ) /  
└─ Indicators/  
    └─ インジケーターA.ex5  
    └─ インジケーターB.ex5
```

コピー対象(すべて入れてください)

コピーするのは Indicators フォルダ内の .ex5 ファイルです。一部だけ入れず、フォルダ内の .ex5 をすべてコピーしてください。

商品によって個数が異なります。目安は次のとおりです。

・SP&NEO … 約 20 個

・Victory … 約 7 個

1 つでも欠けていると、期待どおりに動かない・表示されないことがあります。

3. MT5 ヘファイルを配置する

STEP 01 MT5 のデータフォルダを開く

1. MT5 を起動します。
2. メニューバーから「ファイル」→「データフォルダを開く」をクリックします。

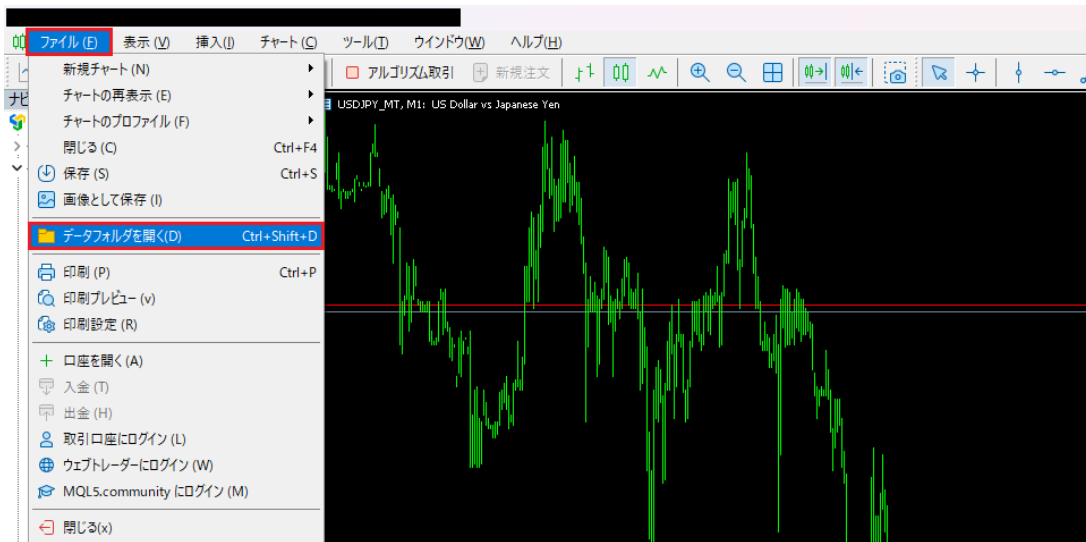


図 1 MT5 メニューからデータフォルダを開く

STEP 02 MQL5/Indicators 直下に .ex5 をすべてコピーする

1. 開いたデータフォルダ内の MQL5 → Indicators を開きます。
2. 配布フォルダの Indicators にある 全ての .ex5 をコピーします。
3. 貼り付け先は MQL5/Indicators の 直下 です(フォルダのすぐ下)。
4. 「Examples」や「Free Indicators」の中には入れないでください。ここに入れると一覧が見つけにくくなり、設定ミスの原因になります。

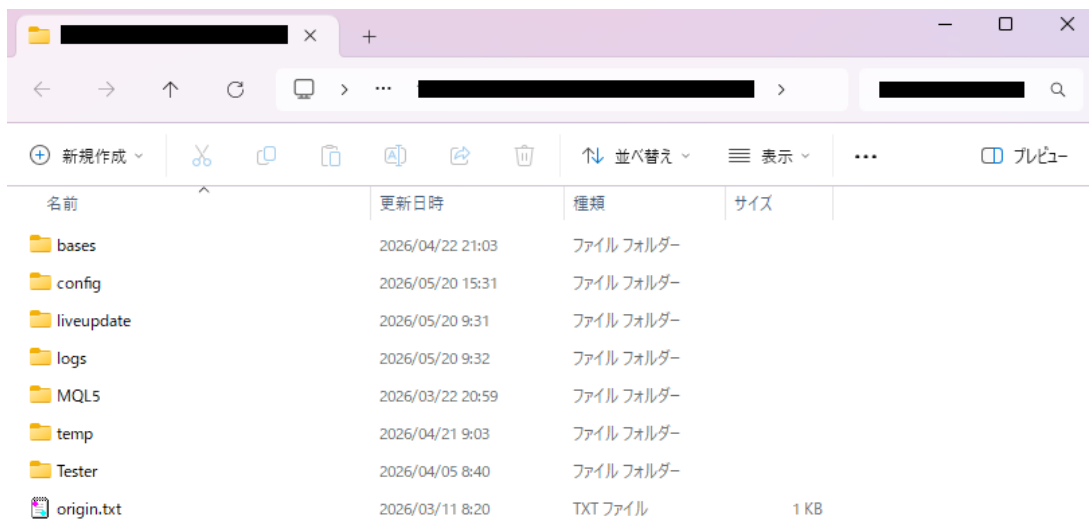


図 2 データフォルダ内の MTQL5 フォルダ

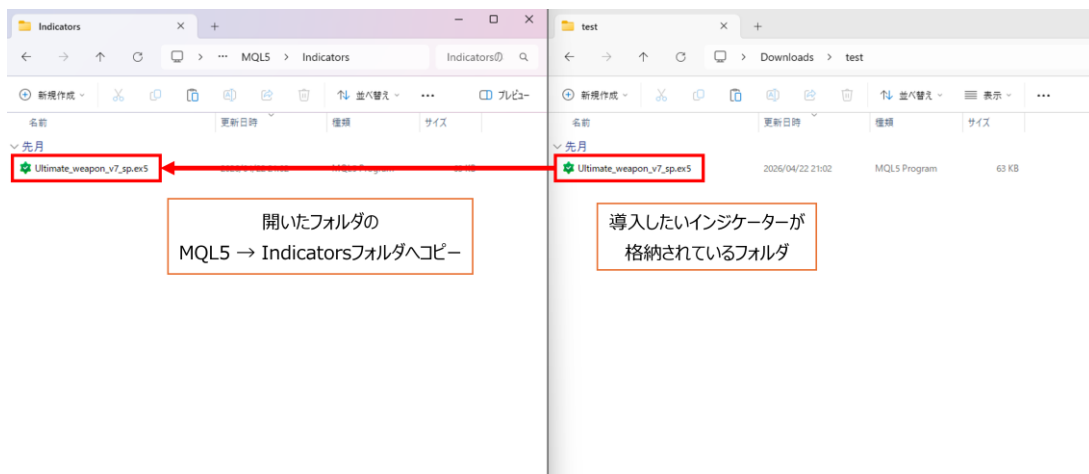


図 3 Indicators フォルダへ .ex5 をコピー

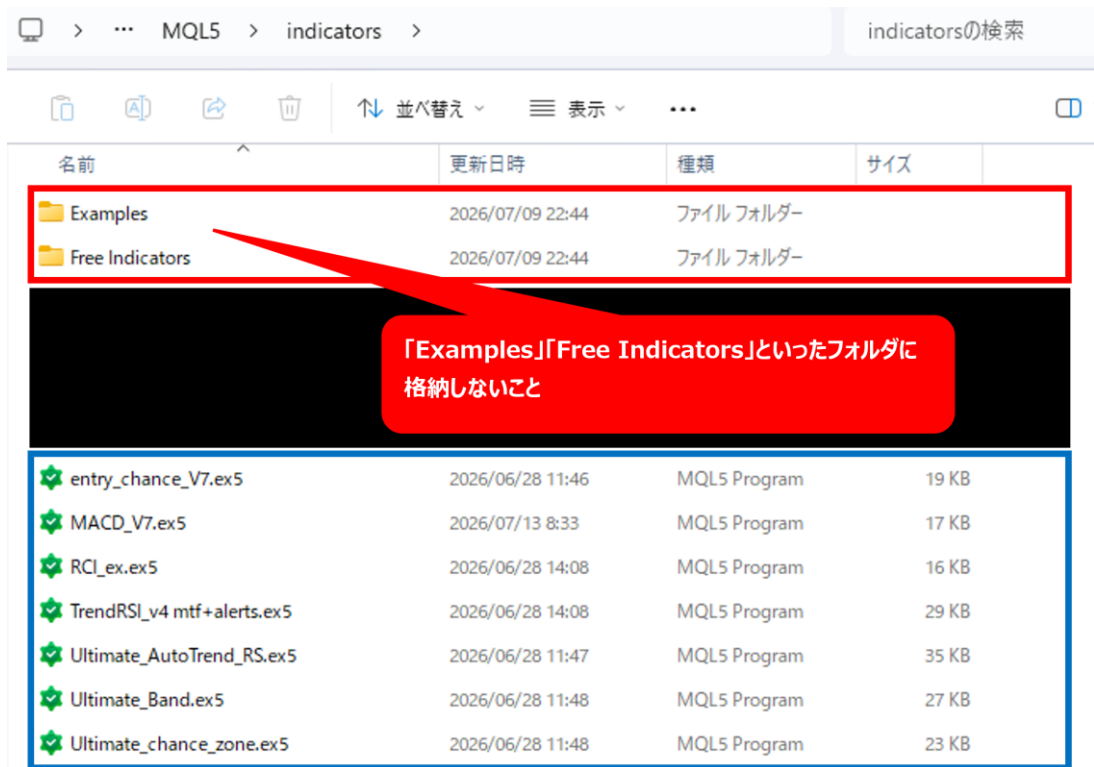


図 10 Indicators 直下へ入れる(Examples / Free Indicators には入れない)

よくある間違い

Indicators フォルダを開いたあと、そのまま Examples や Free Indicators の中へ入れてしまうケースがあります。必ず Indicators フォルダを開いた画面の「すぐ下」(直下)に .ex5 を置いてください。

4. ナビゲーターを更新する

ファイルをコピーした直後は、MT5 側の一覧にまだ表示されない場合があります。

STEP 03 インジケーター一覧を再読み込みする

1. ナビゲーターを表示します。ショートカットは **Ctrl + N** です。
2. 「インジケーター」付近で **右クリック** → 「更新」を実行します。
3. 表示されない場合は、MT5 を一度終了して再起動します。

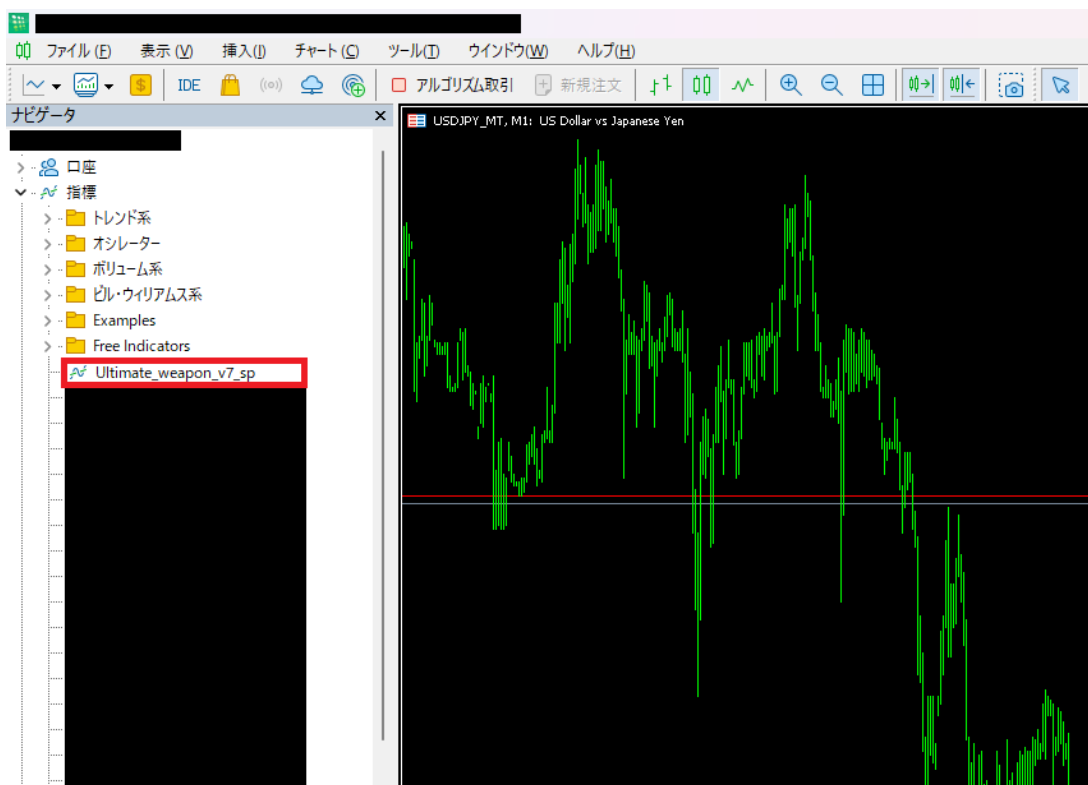


図 4 ナビゲーターにインジケーター名が表示された状態

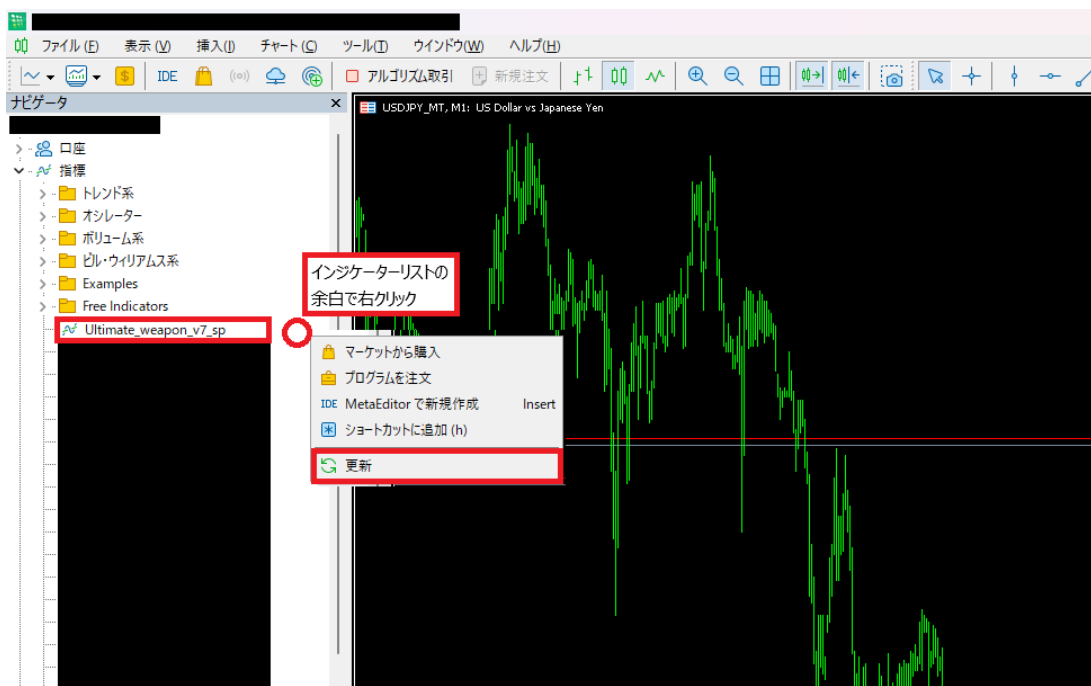


図5 ナビゲーターの「更新」

5. DLL の使用を許可する（認証がある場合）

本商品のインジケーターには認証が付いているため、DLL の使用許可が必要です。チャートへ適用する前に設定してください。

STEP 04 オプションで DLL を許可する

1. 上部メニューから「ツール」→「オプション」を開きます。
2. 「エキスパートアドバイザ」タブを開きます。
3. 「DLL の使用を許可する」にチェックを入れます。
4. OK を押して閉じます。

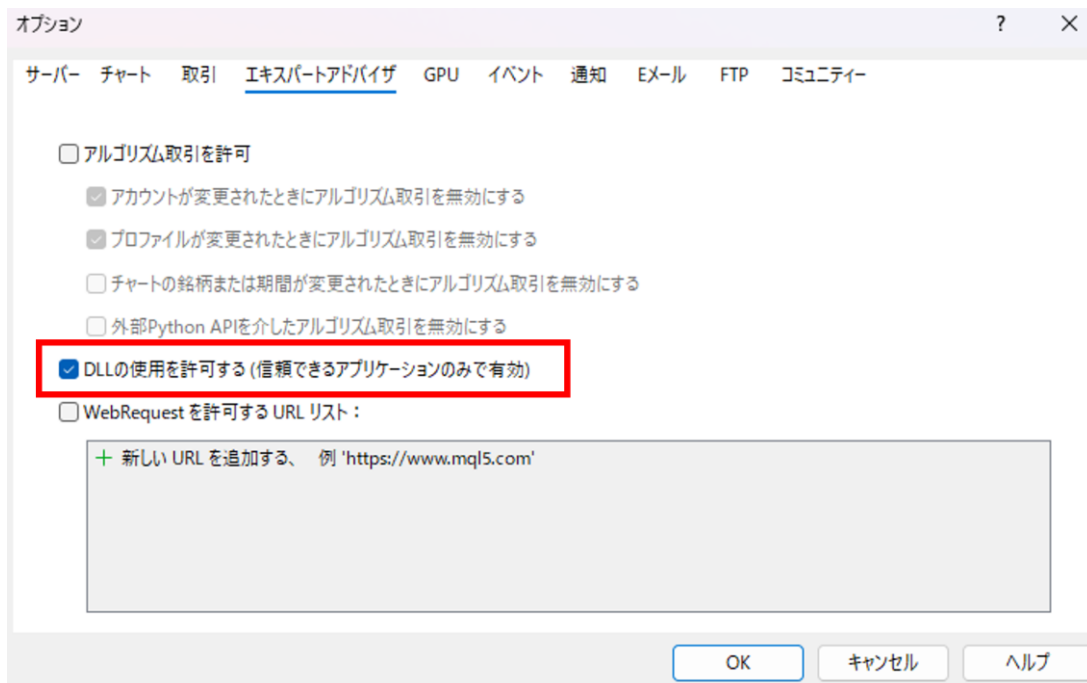


図 11 オプションで「DLL の使用を許可する」にチェック

補足

チャートにインジケーターを載せた直後の設定画面(全般タブ)でも、同様のチェックが出る場合があります。その場合もチェックを入れてください。

認証に成功すると、チャート左上付近に認証成功の表示が出る場合があります(ゴゴジャン認証の場合)。

口座変更や認証エラーの詳細は、付録 A をご確認ください。

6. チャートへ適用する

STEP 05 インジケーターをチャートに載せる

1. 表示したい 銘柄・時間足 のチャートを開きます。
2. ナビゲーターからインジケーター名を チャートヘドラッグ&ドロップ します。
3. 初回のパラメータ画面は、基本的に 初期値のまま OK で問題ありません。
4. 設定画面の全般タブに「DLL の使用を許可する」がある場合は、チェックを入れてから OK を押します。

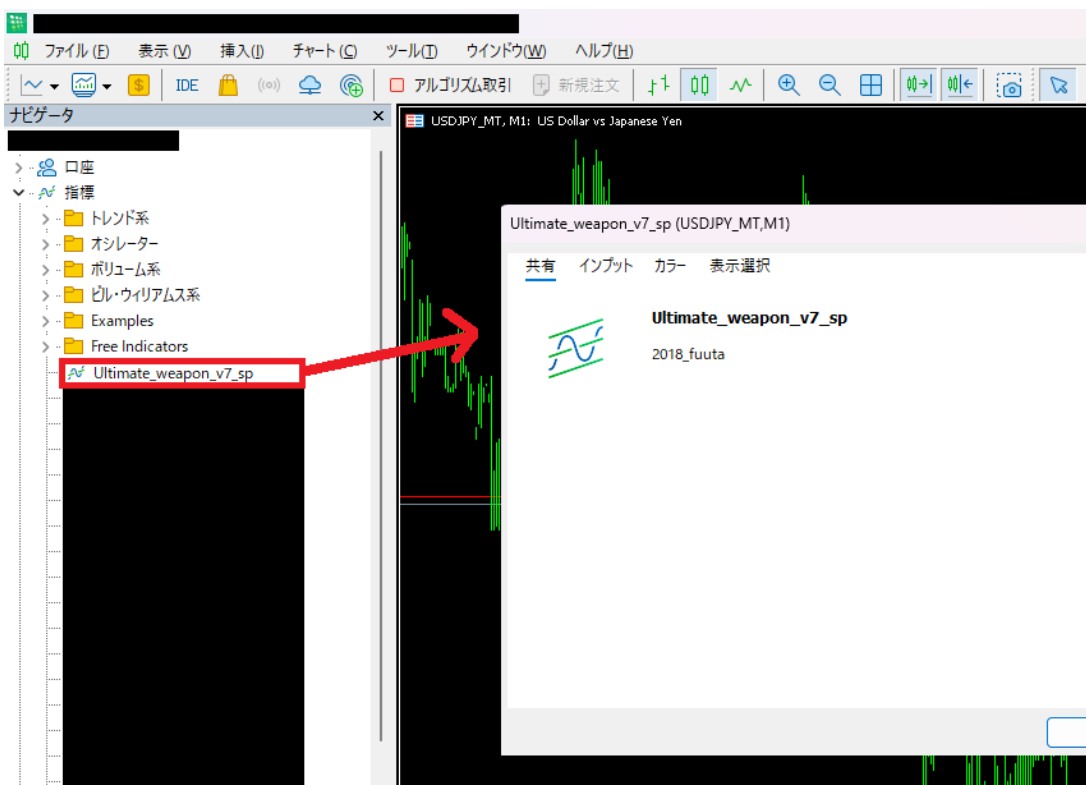


図 6 ナビゲーターからチャートヘドラッグ&ドロップ

7. パラメータを変更する

あとから数値・色・表示設定を変更したい場合は、チャート上のインジケーター一覧からプロパティを開きます。

STEP 06 プロパティ画面を開く

1. チャート上で **右クリック** します。
2. 「インジケーター一覧」を選択します。
3. 対象のインジケーターを選び、「プロパティ」を開きます。
4. 「パラメータ」タブで設定を変更し、OK を押します。

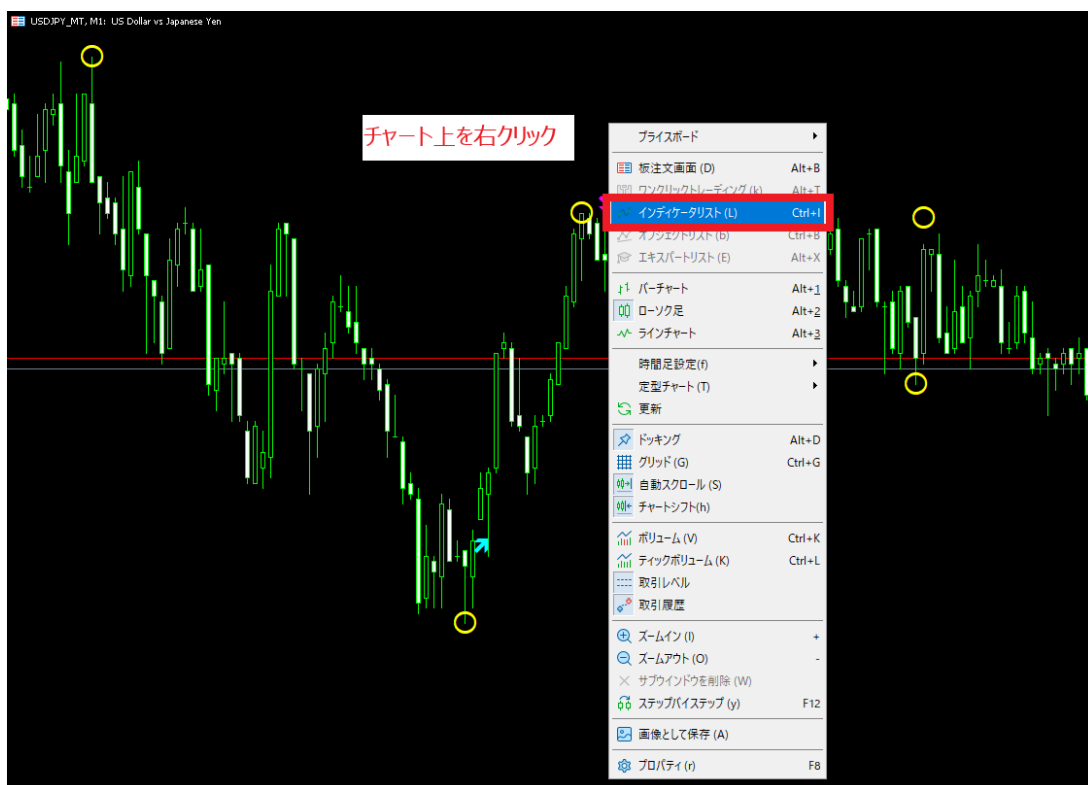


図 7 インジケーター一覧

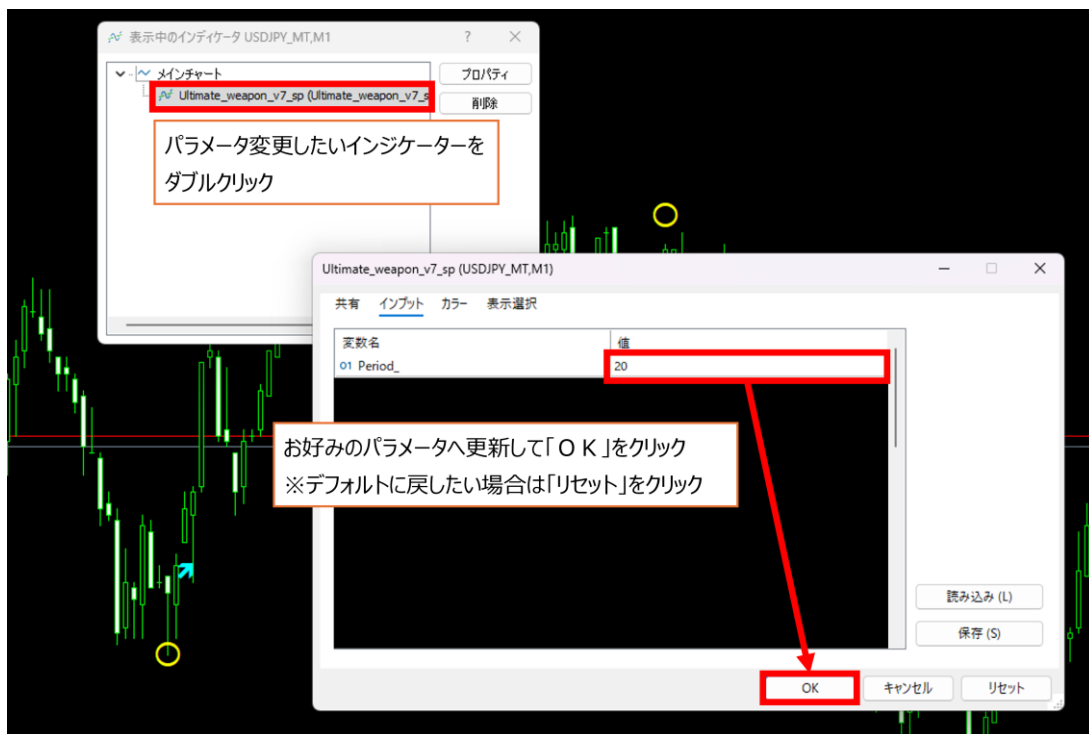


図8 プロパティの「パラメータ」タブ

音声ファイルの指定(一部インジケーターのみ)

すべてのインジケーターが対象ではありません。プロパティの「パラメータ」タブに音声ファイル名を入力する項目がある場合のみ、アラート音の .wav を変更できます。項目がないインジケーターは、初期値のままで問題ありません。

指定のしかた

- ・パラメータにはファイル名のみを入力します(フルパスは不要です)。
- ・指定した .wav は、MT5 をインストールしたフォルダ内の Sounds フォルダから読み込まれます。
- ・章 3 でコピー先に使うデータフォルダ(MQL5/Indicators)とは別の場所です。
- ・Sounds フォルダの場所や、中身の確認方法は付録 D を参照してください。

STEP 07 パラメータで音声ファイル名を変更する(該当する場合)

1. 章 7 STEP 6 と同様に、対象インジケーターの「プロパティ」を開きます。
2. 「パラメータ」タブで、音声ファイル名やサウンド関連の項目を探します。
3. 項目がある場合、Sounds フォルダ内に存在する .wav のファイル名 を入力します(拡張子 .wav を含めます)。
4. アラートやサウンドを鳴らす設定が OFF の場合は音は鳴りません。該当する ON/OFF

項目もあわせて確認してください。

5. OK を押して反映します。

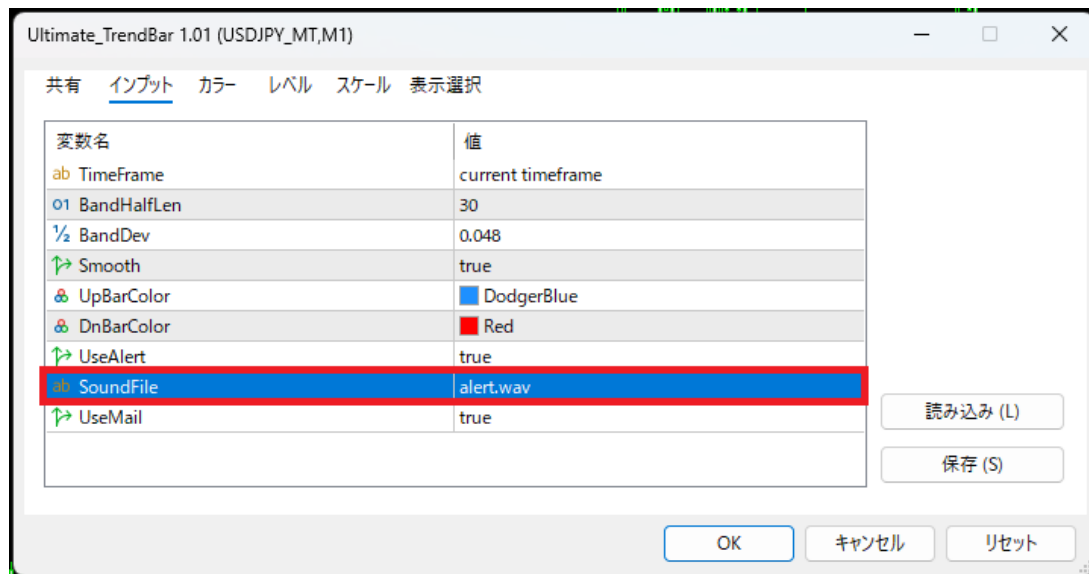


図 18 パラメータでの音声ファイル名の指定例

8. 完了チェック

☐	配布フォルダ内の .ex5 をすべて MQL5/Indicators 直下へコピーした (Examples 等ではない)
☐	ナビゲーターを更新、または MT5 を再起動した
☐	ナビゲーターにインジケーター名が表示された
☐	「ツール」→「オプション」で「DLL の使用を許可する」にチェックした
☐	チャートヘドラッグ&ドロップして表示(／認証)を確認した
☐	必要に応じてパラメータ解説書を確認した

設定完了の目安

チャート上にインジケーターが表示され、プロパティ画面からパラメータを開ければ導入は完了です。認証がある場合は、チャート左上付近に認証成功の表示が出ることがあります。
各設定項目の意味や推奨値は、同梱のパラメータ解説書をご確認ください。

9. うまく表示されないとき

症状	確認・対処
一部のインジしか動かない／足りない	配布フォルダ内の .ex5 をすべて入れたか確認します。目安として、SP&NEO は約 20 個、Victory は約 7 個です。足りない分を追加コピーしてください。
ナビゲーターに名前が出ない／場所が分からない	Examples や Free Indicators の中に入れていないか確認し、MQL5/Indicators 直下へ移してから、右クリック「更新」または MT5 再起動を行います。
チャートに載せても動かない・認証エラー	「ツール」→「オプション」→「エキスパートアドバイザー」で「DLL の使用を許可する」にチェックがあるか確認します。ファイル名末尾の英数字(識別子)を変えていないかも確認し、詳細は付録 A を参照してください。
ドラッグしてもチャートに載らない	別の銘柄・時間足で試し、同名の古い .ex5 が残っていないか確認します。
チャートに何も表示されない	パラメータを初期値に戻し、表示色・時間足・他インジケーターとの重なりを確認します。
表示が重なって見づらい	チャート右クリック「インジケーター一覧」から対象を選び、色や表示設定を調整します。
MT5 の動作が重い	付録 B「MT5 が重いときの対策」を参照し、チャートの最大バー数を減らしてみてください。
ファイル拡張子が見えない	Windows のエクスプローラーで「表示」→「ファイル名拡張子」を有効にして .ex5 を確認します。
アラート音が鳴らない	インジケーターのプロパティで、アラートやサウンド関連の設定が有効になっているか確認します。音声ファイル名を指定する項目がある場合、その名前の .wav が MT5 インストール先の Sounds フォルダに存在するか確認してください(データフォルダではありません)。フォルダの場所は付録 D を参照してください。

それでも改善しない場合

設定手順を間違えている可能性があります。購入ファイルに同梱の本手順書を最初から見直し、あわせて付録 A のゴゴジャン案内もご確認のうえ、もう一度設定しなおしてみてください。

10. よくある質問

Q. MetaEditor でコンパイルする必要はありますか？

A. ありません。配布される .ex5 はコンパイル済みの実行ファイルです。

Q. .mq5 や .mqh が見当たりません。問題ありませんか？

A. 問題ありません。本手順では .ex5 のみを MT5 に配置します。

Q. なぜ DLL の許可が必要ですか？

A. 本商品のインジケーターには認証機能が付いているためです。チェックがないと正常に動作しないことがあります。章 5 の手順を実施してください。

Q. 複数の商品を同時に入れてもよいですか？

A. はい。各商品の .ex5 を同じ MQL5/Indicators フォルダにコピーしてください。

Q. 設定値を変更したあと戻したい場合は？

A. プロパティ画面で初期値に戻すか、インジケーターを一度削除して再度チャートへ適用してください。

Q. 別の口座でも使いたい場合は？

A. 認証付きインジケーターは原則 1 口座での利用です。口座を切り替える手順は付録 A(ゴゴジャン案内)を参照してください。

Q. 音声ファイルはデータフォルダに置きますか？

A. いいえ。音声の .wav は MT5 をインストールしたフォルダ内の Sounds フォルダに置きます。章 3 で開くデータフォルダ(MQL5/Indicators)とは別の場所です。詳しくは付録 D を参照してください。

Q. パラメータに音声ファイル名の項目がありません。

A. 音声ファイルを指定できるのは一部のインジケーターのみです。項目がない場合は、ポップアップ通知など MT5 標準のアラート機能のみとなります。各インジケーターのパラメータ解説書もあわせてご確認ください。

サポートへ連絡する前に

症状を伝える際は、コピー先フォルダの画面、ナビゲーターの表示、DLL 設定画面、チャートの状態が分かるスクリーンショットを添えると確認がスムーズです。

付録 A. 認証・口座変更について（ゴゴジャン案内）

認証付きインジケーターの詳細や、利用口座の変更方法は販売サイト(ゴゴジャン)の案内をご確認ください。

はじめに押さえること

- ・認証付きインジケーターは、原則として 1 口座での利用です。
- ・ファイル名の末尾にある英数字(識別子)は、絶対に変更しないでください。
- ・別口座で使いたい場合は、ゴゴジャンのマイページで登録口座のリセットが必要です。
- ・リセットの前に、対象の MT5 を閉じるか、認証付きインジケーターをチャートから外してください。

設置方法・認証・利用口座の変更などの詳細は、次のページをご確認ください(記事は MT4 表記が多いですが、認証・DLL・口座リセットの考え方は共通です。本手順書では MT5 の画面で実施してください)。

<https://www.gogojungle.co.jp/post/1/15818>

本手順書との関係

ファイルの配置場所や DLL の許可手順は、この設定手順書(本編)に従ってください。認証エラーが続く場合や口座変更が必要な場合は、上記のゴゴジャン案内をあわせてご確認ください。

付録 B. MT5 が重いときの対策

チャートの表示範囲が大きすぎると、MT5 の動作が重くなる場合があります。最大バー数を減らして改善できる場合があります。

STEP B チャートの最大バー数を減らす

1. 上部メニューから「ツール」→「オプション」を開きます。
2. 「チャート」タブを開きます。
3. 「チャートの最大バー数」を減らします(例: 大きすぎる場合は 5000～10000 程度から試す)。
4. OK を押し、必要に応じて MT5 を再起動して動作を確認します。

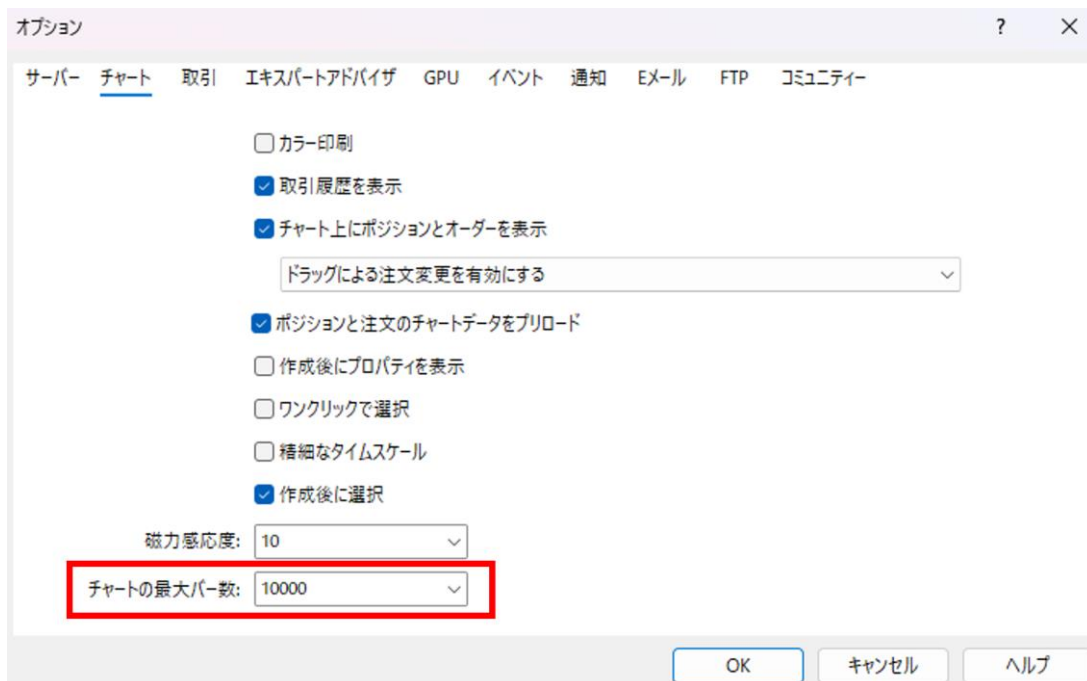


図 12 オプション「チャート」タブの最大バー数

注意

最大バー数を減らすと、チャートで遡れる過去データの範囲も短くなります。表示が足りないと感じたら、数値を少しずつ戻してください。

付録 C. 同じ FX 会社で MT5 を複数入れる方法

同じ FX 会社でも、インストール先を変えれば MT5 を複数インストールできます。口座や環境を分けたいときに便利です。

STEP C インストール先を変えて追加インストールする

1. FX 会社の MT5 インストーラーを起動します。
2. インストール先を 別フォルダ に変更します(例: 既定のままではなく MetaTrader 5_2 など)。
3. デスクトップのショートカット名も、区別できる名前に変更しておくで安心です。
4. 追加した MT5 ごとに、本編の手順どおり データフォルダ → `MQL5/Indicators` へ `.ex5` を配置し、DLL の許可 もそれぞれ行います。

ポイント

データフォルダはインストール先ごとに別になります。インジケーターのコピーと DLL 設定は、使う MT5 の台数分だけ繰り返してください。

付録 D. 音声ファイル（Sounds フォルダ）について

一部のインジケーターは、アラート音として .wav ファイルを再生します。そのファイルはデータフォルダではなく、MT5 のインストール先フォルダ内にあります。

データフォルダとインストール先フォルダの違い

- ・データフォルダ … 章 3 の「ファイル → データフォルダを開く」で開く場所。 .ex5 の配置先 (MQL5/Indicators) です。
- ・インストール先フォルダ … MT5 本体 (terminal64.exe 等) をインストールした場所。音声の Sounds フォルダはこちらにあります。
- ・混同しやすいため、音声ファイルを探すときはデータフォルダではなく、インストール先を確認してください。

STEP D-1 インストール先フォルダの Sounds を開く(まずこちらを試す)

1. MT5 をインストールしたフォルダ (プログラムの設置場所) の直下に、**Sounds** フォルダがあります。
2. インストール先が分かる場合は、エクスプローラで (インストール先)\Sounds を開き、.wav ファイルがあることを確認します。
3. インストール先の確認例: デスクトップの MT5 ショートカットを右クリック → 「プロパティ」 → 「リンク先」のパスから、terminal64.exe があるフォルダを特定します。
4. そのフォルダ内の **Sounds** を開くと、MT5 が利用できる .wav 一覧を確認できます。中身は MT5 の種類や FX 会社によって異なります。

インストール先が分からない場合

上記の方法で Sounds フォルダにたどり着けない場合は、MT5 の設定画面から開く方法があります。この操作でファイル選択ダイアログが Sounds フォルダを開くため、パスを確認できます。

STEP D-2 オプションの「イベント」タブから Sounds フォルダを開く

1. MT5 上部メニューから「ツール」→「オプション」を開きます。
2. 「イベント」タブを開きます。
3. イベント一覧から 任意の項目を 1 つ 選びます (例: 接続、切断、ティックなど)。
4. 右側のサウンド欄で「他を選択」(または「その他」) をクリックします。
5. ファイル選択ダイアログが **Sounds** フォルダを開いた状態 で表示されます。アドレスバ

ーにパスが表示されるので、場所を控えられます。

6. 音の変更が不要であれば、ダイアログは **キャンセル** で閉じて構いません(フォルダの場所を確認する目的で問題ありません)。

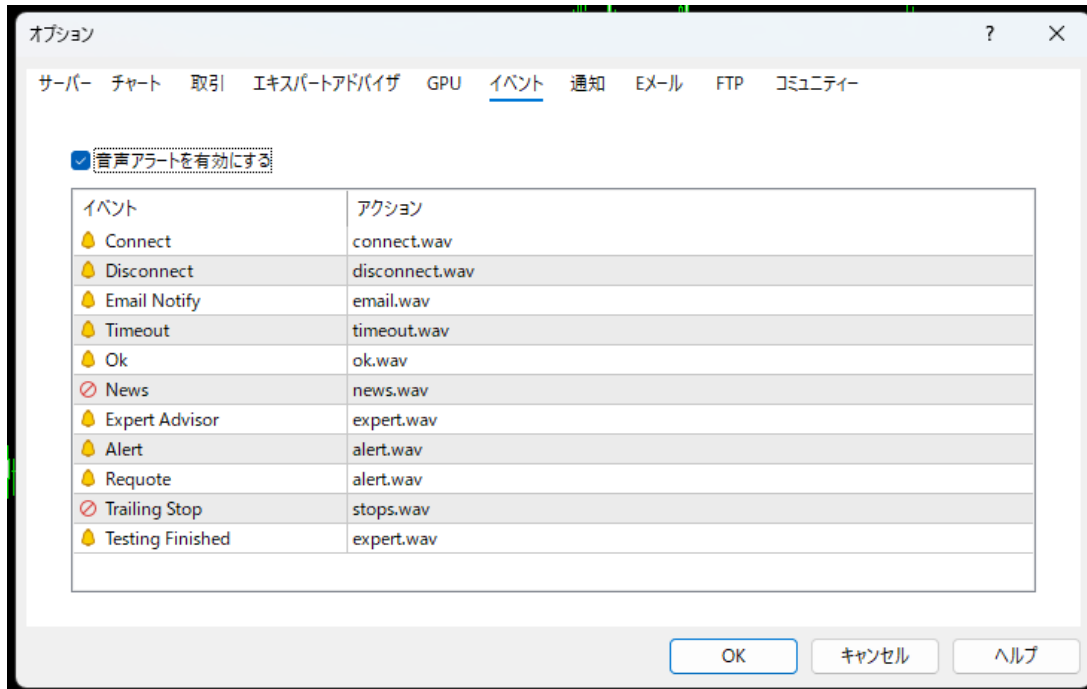


図 15 オプション「イベント」タブ

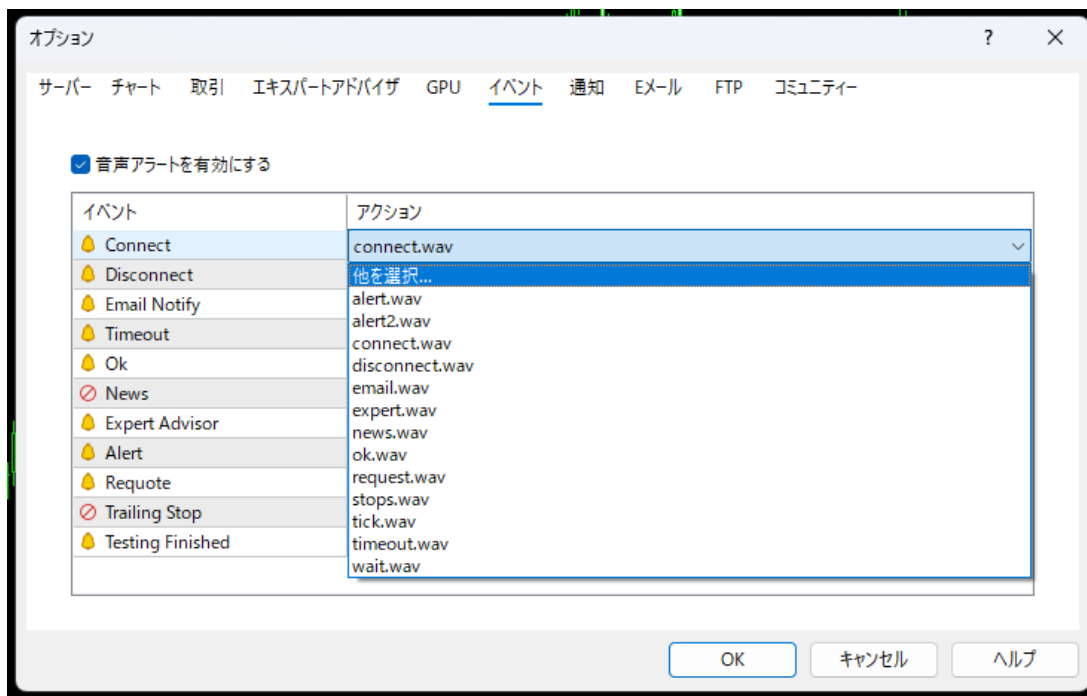


図 16 イベントのサウンド「他を選択」

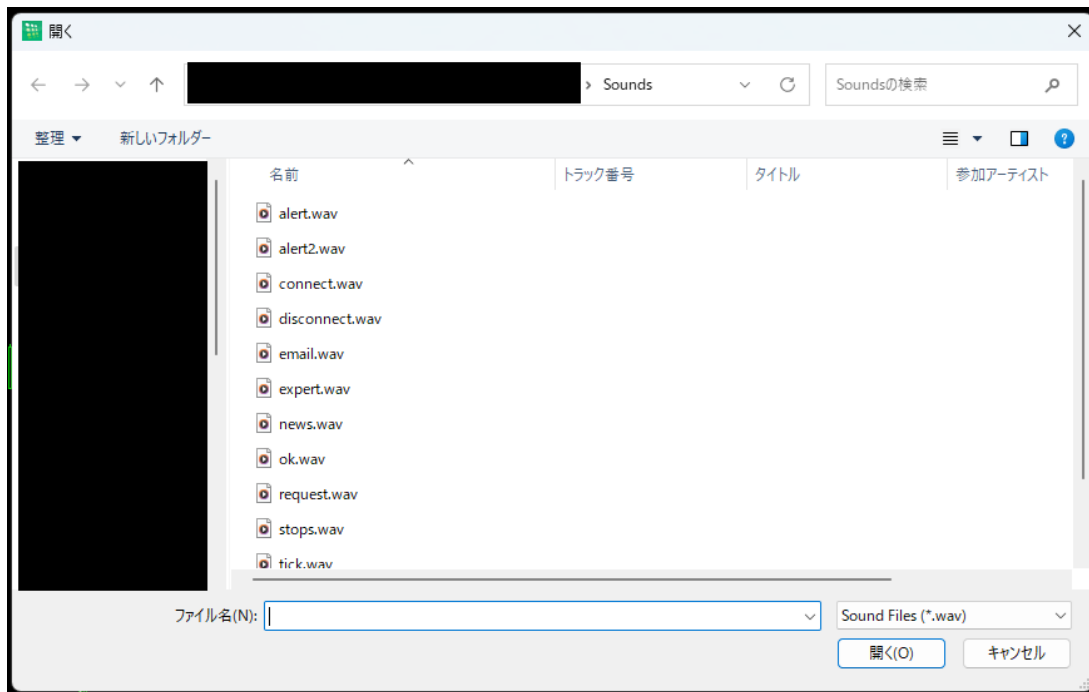


図 17 Sounds フォルダ(ファイル選択ダイアログ)

音声ファイルを追加・変更するとき

- ・パラメータに入力するのは、Sounds フォルダ内に存在する .wav のファイル名のみです。
- ・利用できる .wav は、お使いの MT5 に最初から入っているものと、ご自身で Sounds に追加したものです。
- ・ファイル名は大文字・小文字を区別する場合があります。Sounds フォルダ内の表示名と一致させてください。
- ・カスタムの .wav を使う場合は、Sounds フォルダへコピーしたうえで、パラメータにそのファイル名を指定します。